



子ども大学よこはま
THE CHILDREN'S UNIVERSITY OF YOKOHAMA

2015年度 第5回授業の報告

日時 2016年1月16日(土) 13:30~14:30/場所 野毛山動物園

1月16日、「子ども大学よこはま」の第5回目の授業が、野毛山動物園で行われました。
参加した“学生”は、全部で50人です。うち、6年が5人、5年が22人、4年が23人でした。

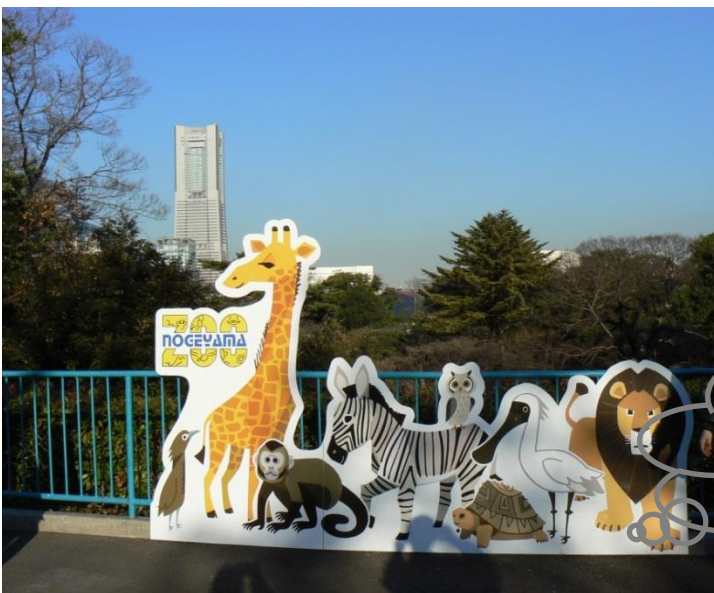
プログラム

<第5回授業>

「みんなの知らない動物園」

講師：櫻堂 由希子(さくらどう ゆきこ)さん
野毛山動物園職員のみなさん

A・Bの2つのグループに分かれて、お話を聞いたり、見学をしました。
○キリン舎寝室と飼料庫の見学 ○研修室にて授業



野毛山動物園は、60年以上前に開園され、横浜の「身近な動物園」として長く親しまれています。

一昨年らくだの「ツガル」さんが、たくさんの人に惜しまれて亡くなりました。

『ツガルさん』(神奈川新聞社発行)という絵本が出ています。

<http://www2.nogeyama-zoo.org/>

今日はみなさんがふだん見たことのない動物園の裏側まで案内します。

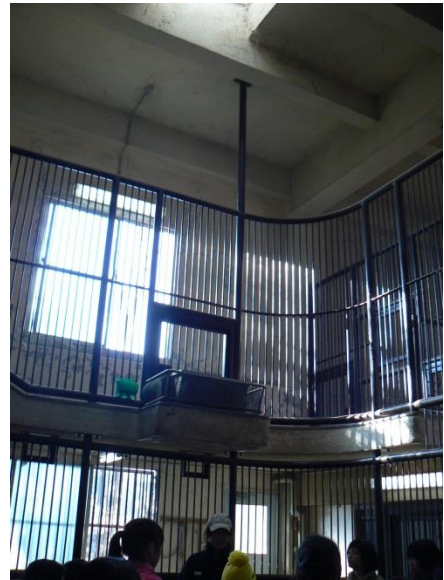
ぜひ楽しんでいってください。

(園長さん)

授業風景



横浜の3つの動物園のことや、動物園のやくわり、飼育員さんの仕事についてお話をうかがいました。「園内の動物を見るときに考えて」と宿題もありましたね。



きりんのそら君が小さかった時のほにゅうビンやえさのこと、病気の時の薬の飲ませ方などキリン舎の中で教えていただきました。



動物たちのえさがある飼料庫の見学です。
どの動物がどんなえさを食べているのかな？
動物たちそれぞれに合うえさが用意されていましたね。



授業後のアンケートから

“学生”のアンケート回答から

アンケートに答えてくれたのは、6年生6人、5年生27人、4年生17人、不明5人でした。
そのうち、授業の出席回数が4回目の学生が23人、3回目が20人、とおよそ8割が3回目以上でした。

1. これまでに野毛山動物園に来たことがありますか？

出席者の84%の人がこれまでに野毛山動物園に来たことがあると答えています。

2. 動物園のやくわりについて理解できましたか？

全員が動物園のやくわりを理解してくれました。

3. 動物園で働く人の仕事に興味を持ちましたか？

興味を持ったと回答した学生

- 全体・・・92%（46人）
 - ・6年生・・・100%（全員）
 - ・5年生・・・90.9%（20人）
 - ・4年生・・・91.3%（21人）



4. また野毛山動物園に来たり、ほかの動物園に行きたいと思いますか？

ほぼ全員が「また野毛山動物園に来てみたい」、「他の動物園に行きたい」と答えています。

5. 今日の授業で動物や動物園について、新しく発見したことはありますか？

「ある」と答えた学生

- 全体・・・84%（42人）が
 - ・6年生100%（全員）
 - ・5年生81.8%（18人）
 - ・4年生82.6%（19人）

↓

どんな発見がありましたか？



<飼育員の仕事内容に関すること>

- ◇ 飼育員は飼育以外にも大工の仕事があったり、いろいろな役割があり大変だ。（12人）
- ◇ 飼育員は1人で3種類以上の動物を世話しなければならず、動物に対して飼育員の数が少ない。（3人）

<動物のえさについて>

- ◇ 違う種類の動物は違うえさを食べる等えさについて詳しく知った。（10人）
- ◇ キリンでもキャットフード・ドッグフードみたいなものを食べることおよびキリンの身長について。（8人）
- ◇ 動物によって育て方やえさがちがう。（4人）
- ◇ チンパンジーは食べるモノまで人間に似ていることやチンパンジーやキリンが多くの種類の食べ物を食べること。（3人）

スタッフミーティングから

第5回授業のため最初に動物園を訪れたのは休園日でした。お休みの日でも動物たちにえさをあげたり世話をする仕事に休みはありません。そんな動物園の“裏側”を見て、学生の皆さんはどう感じたでしょうか？

保護者の皆様には、今回はスペースの都合で授業参観をしていただくことができず申し訳なく、また残念でしたが、“学生”たちはどんな話をしていたのでしょうか？

さてスタッフ反省会では皆開口一番、「お天気がよくて何よりだった」と一致。センター試験や成人式と重なる当日は、ときどき大雪に見舞われる日でもあったので、天候による中止の場合も考えながら準備を進めて参りました。また、野毛山動物園の職員の皆様が、授業のほかさまざまな準備をしてくださり、スムーズに運営ができました。

☆これで2015年度全5回の授業は終了です。
毎回お忙しい中、子どもたちに付き添って来られた保護者の皆様には厚く感謝申し上げます。
お陰様で、事故もなく、無事終えることができました。

☆ミーティングは、スタッフと話してみたい保護者の方、活動に参加してみたい方も参加OKです。
日程は、基本的に土曜日の午後13:30～、桜木町・横浜市市民活動支援センター（4階または5階）で行っています。日程が変更になることもございますので、事前にご連絡ください。

修了式&特別公開講演会のお知らせ

修了式では、1年の学びを振り返り、6年生の卒業をみんなでお祝いし、5回の授業をすべて出席した学生をたたえます。修了式のあとは、特別公開講演会があります。

【日時】3月5日（土）修了式 14:00～ 特別公開講演会 14:45～16:15

【場所】横浜市技能文化会館2階ホール（JR 関内駅南口徒歩5分、地下鉄伊勢佐木長者町駅徒歩3分）

<第一部> 2015年度子ども大学よこはま 修了式

<第二部> 特別公開講座

「富士山より高いチリの砂漠に、なぜ、どうやって電波望遠鏡を建てたのか？

— 生命誕生のなぞに挑むアルマ望遠鏡 —（仮題）」

宮川 広 先生(元国立天文台専門研究職員/NPO 法人子ども・宇宙・未来の会)

【申込み】2月15日までに申し込みください。講演会は学生以外の3～6年生も参加できます。

3年生のごきょうだいもご希望があればいっしょにお申し込みください。

感想文募集中！

*1年間の授業の感想文、募集しています。400字詰めB4サイズの下書き用紙1枚に書いて、1月中旬に事務局に郵便で送って下さいね。締切は2月15日。（延ばしました）

*保護者の皆様へ：振り返りをする事で、1年間のテーマ「命」について、自分なりの考えを深める機会となります。1枚書けなくてもかまいませんので、ひと言書くことをおすすめしてください。



子ども大学よこはま
THE CHILDREN'S UNIVERSITY OF YOKOHAMA

特定非営利活動法人子ども大学よこはま 〒226-0027 横浜市緑区長津田 1-22-2-38

電話 090-3903-6875 EMAIL inform@kodomodaigaku-yokohama.com

<http://www.kodomodaigaku-yokohama.com/>

<https://www.facebook.com/kodomodaigakuyokohama>